



第1層協議体

感染症が落ち着いたことから、地域活動が再び活発化してきました。
そこで **地域の「交流の場・通いの場」** に焦点を当て、地域活動や高齢者を支援する様々な関係機関のご担当者にご出席いただき、具体的な支援事例の共有や情報交換を行いました。

● 概要

日時 令和6年1月23日 10:00～12:00
場所 中央保健福祉センター
出席者 老人クラブ連合会事務局、シニアリーダー事務局、社会福祉協議会、健康課、高齢障害支援課、地域づくり支援課など（24名）
テーマ **地域の「交流の場・通いの場」に対する支援事例**

● 目的

- ・事例を通じた生活支援コーディネーターの役割の理解
- ・地域の「交流の場・通いの場」に関する情報共有
- ・出席者同士のネットワークの構築

● 役割・担当

- ・企画、運営、連絡調整

● 内容1 支援事例の紹介

地域の「交流の場・通いの場」に対する支援を **創出、再開、活性化、自主化移行** の4つに分類し、担当の生活支援コーディネーターより、具体的な事例を紹介しました。（計5件）
その上で、事例関係者を中心に出席者へ意見や助言、提案を求めた結果、実務におけるヒントが多数あがりました。

● 内容2 情報交換

支援事例をふまえ、グループに分かれて情報交換を実施しました。
高齢者の自立支援や地域における緩やかなつながりのほか、多世代交流やケアマネジメント支援など、様々な意見・情報があがりました。



● 結果・効果

- ・具体的な事例とその支援経過を通して、地域の「交流の場・通いの場」の現状や課題について関係機関の担当者間で理解を深めることができました。
- ・顔の見える関係を構築する機会となりました。

※裏面「出席者アンケート結果」参照

● 生活支援コーディネーターより

支援事例の紹介では、生活支援コーディネーターの視点を明記することにより、役割の共通認識を図るとともに、関係機関との円滑な連携につながるよう配慮しました。

発行・連絡先
所在地

千葉市生活支援コーディネーター中央区 坂本（さかもと）

〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-10-20

社会福祉法人焔徳会 特別養護老人ホーム新千葉一倫荘内



電話

070-3105-8246（平日9:00～17:00）



FAX

043-243-0860

E-mail

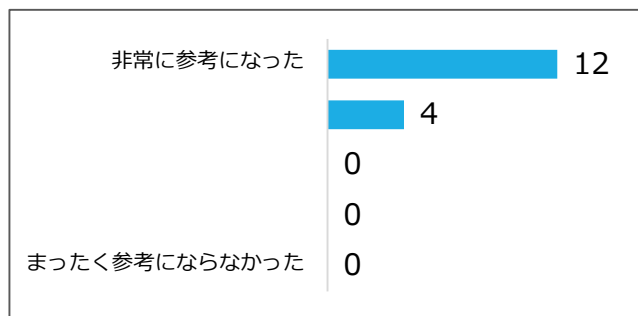
sc-chuoku@koutokukai.sakura.ne.jp

担当地区

中央区全域

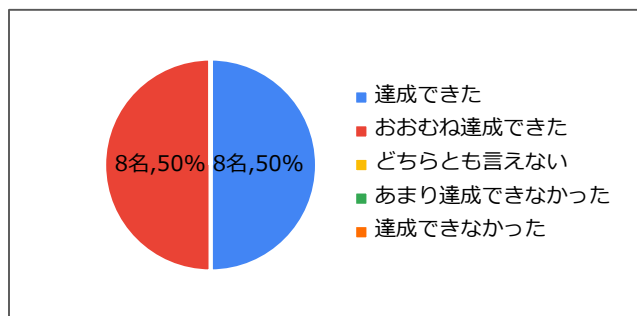
出席者アンケート結果

1. 地域の「交流の場・通いの場」に対する支援事例はいかがでしたか。

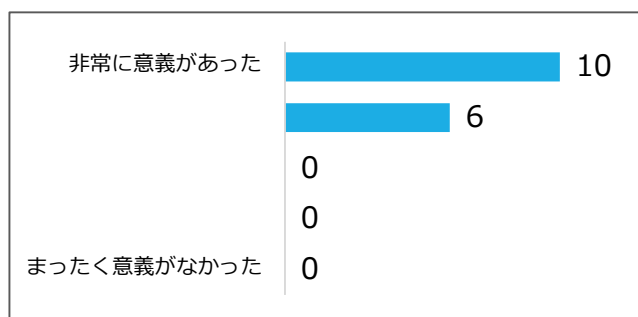


4. 今回の協議体の目標は達成できましたか。

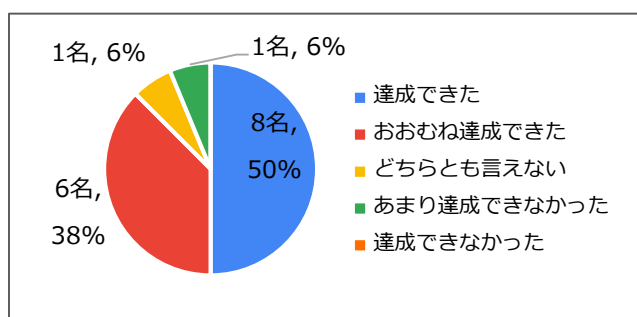
(1) 事例を通した生活支援コーディネーターの役割の理解



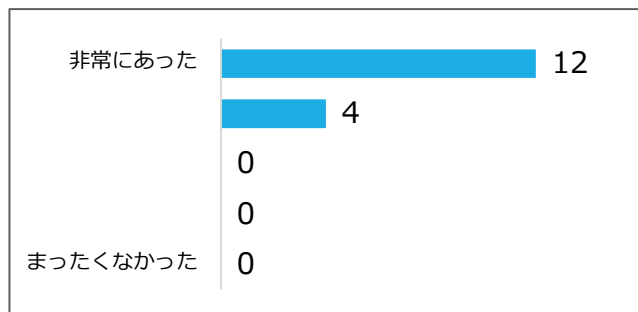
2. グループごとの情報交換はいかがでしたか。



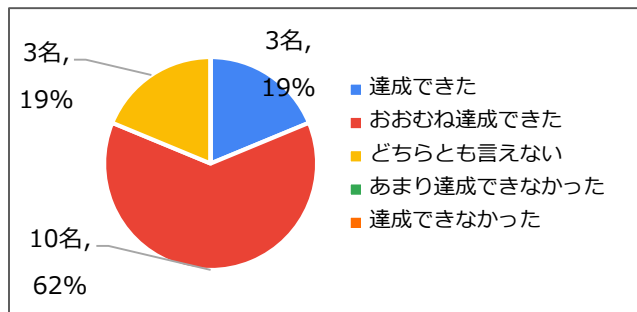
(2) 地域の「交流の場・通いの場」に関する情報共有



3. 今回の協議体の内容について、今後のご自身の業務に生かせそうな部分はありましたか。



(3) 出席者同士のネットワークの構築



5. 自由記載 (一部抜粋)

- ① 地域の高齢化の実態や新たな交流の場の立ち上げの困難さを理解できました。
- ② 再開支援に関する取組みは大変有益で、意義のあるものだと感じました。普段は関わらない皆様とも意見交換ができました。
- ③ 事例紹介は大変参考になりました。今後も知識を深めたいと思います。
- ④ 事例を通して生活支援コーディネーターの役割や具体化な活動を知ることができました。
- ⑤ 違うグループの方々ともネットワークの構築ができるとよかったです。
- ⑥ 情報交換の時間を多めにとれたらよかったです。
- ⑦ マッチングがうまくできる仕組みができるとよいです。
- ⑧ あっという間の2時間でしたが、いろいろな関係機関の方と情報交換ができてよかったです。
- ⑨ グループワークの人数がちょうどよかったです。それぞれの抱える課題についても共有できました。
- ⑩ また出席したいです。

(N = 23, n = 16, 回答率 69.6%)